

対象年度		平成31年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート												
事務事業名		小学校英語活動推進事業						予算事業名		小学校英語活動推進事業費						
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分								
				10	01	03	0504	経常経費	根拠法令							
総合計画体系		4未来を担う子どもと地域を支える市民を育むまちづくり(教育・文							事業の区分		主要事業					
		4-1生きる力を育む教育環境づくり(学校教育)									重点事業					
		①教育内容の充実							担当課係等		学校教育課					
7外国語教育の充実							指導課									
事業期間		継続(平成26年度～平成32年度)														
【めざす姿(意図・どのような状態になるのか)】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】								
英語専門指導員との生きた英語活動を通して、英語への興味・関心を醸成し、英語嫌いを解消し、中学校英語へのスムーズな移行を図る。								2018年から段階的に先行実施される「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」を前倒しして、将来の結城市を担う国際人を育成する。								
【手段(事業内容・どのようなことを行うのか)】								【対象(だれに対して・何に対して行うのか)】								
小学校1年～4年生に対して、総合的な学習の時間(1時間)に国際理解教育の一環として、英語専門指導員が中心となって楽しい英語活動(LEE)を実施する。また、平成28年度以降のさらなる指導充実のための研修機会を設ける。 実施計画 60クラス×35週 研修打合せ 月3回×12ヶ月×9校								英語専門指導員・小学校児童								
								【事業をとりまく環境の変化】								
								2020年の小学校英語教育の完全実施に向けて、児童生徒や市民の英語に対する関心は高まっており、小学校において楽しく学ぶ英語活動は、先進的で大変意義のあることである。								
【平成31年度 事業内容】				【平成32年度 事業内容】				【平成33年度 事業内容】								
小学生1,2年生が月1回,小学校3～6年生が週1回,総合的な学習の時間(1時間)に実施する。また,教材準備や担当との授業打ち合わせの時間を研修時間として確保し,質の向上を図る。				小学生1,2年生が月1回,小学校3～6年生が週1回,総合的な学習の時間(1時間)に実施する。また,教材準備や担当との授業打ち合わせの時間を研修時間として確保し,質の向上を図る。				小学生1,2年生が月1回,小学校3～6年生が週1回,総合的な学習の時間(1時間)に実施する。また,教材準備や担当との授業打ち合わせの時間を研修時間として確保し,質の向上を図る。								
■事業費																
				H29年度		H30年度										
財源内訳	国庫支出金			0		0										
	県支出金			0		0										
	地方債			0		0										
	その他			0		0										
	一般財源			5,766		4,103										
歳入計(千円)				5,766		4,103										
歳出内訳	節(番号+名称)				金額(千円)		金額(千円)									
	08 報償費				5,215		3,500									
	11 需用費				527		549									
	12 役務費				24		54									
歳出計(千円)(A)				5,766		4,103										
伸び率(%)						-28.84										
備考	総合計画 112ページ 予算書 157ページ															

平成29年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		H29年度	H30年度	H31年度
活動 指標	小学校派遣日数（1校あたり）	日	目標	35.00	35.00	35.00
			実績	35.00	0.00	0.00
	小学校実施時間数（1校あたり）	時間	目標	150.00	150.00	150.00
			実績	150.00	0.00	0.00
成果 指標	総契約時間数	日	目標	2,140.00	2,140.00	2,140.00
			実績	2,140.00	2,140.00	0.00
	総活動日数	時間	目標	315.00	315.00	315.00
			実績	315.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	市民の注目度も高く、ますます必要性は高くなっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外に実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	課題を出しながら検討していきたい。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	一般的と思われる。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広い範囲に便益が提供されている。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	英語に対する興味・関心は高まっている。
進捗度	事業の進捗	A 順調である	検討しながら改善していきたい。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
文部科学省により2018年度から段階的に先行実施される「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」を前倒しして、本市独自に実施する意義は大きい。本事業をより意義のある事業にするために、検討会議の開催が必要と考える。一部の教員だけでなく、各校とも全校体制で積極的に取り組むように支援していきたい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
本市独自のこの事業によって、将来の結城市を担う国際人を育成するために、その成果を可視化できる具体的な方策によって検証する必要がある。また、「外国語指導助手派遣事業」と連携した取組を模索していきたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 小学校での英語活動が、中学校でどのように生かされているか検証する必要がある。その評価方法も検討する必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	